

2023年度

子どもセンターつるっこ

事業報告集

子どもセンターつるっこ

子どもセンターつるっこは、2号館として、2005年4月にオープンしました。

「つるっこ」の名前の由来は「つるっこ」という名前の渋柿から来ています。渋い「つるっこ」は、そのまま木にならせておき、寒風にさらされておいしくなります。また、干し柿にしたり渋抜きをしたりしてそれぞれ個性のある味の柿になります。

このように、「つるっこ」に遊びにくる子ども達も、世間の風にさらされ、いろいろなことを覚え成長して欲しいという願いがあります。また、豊かな心をもった成人になって欲しいという願いから「つるっこ」という名前がつけられました。



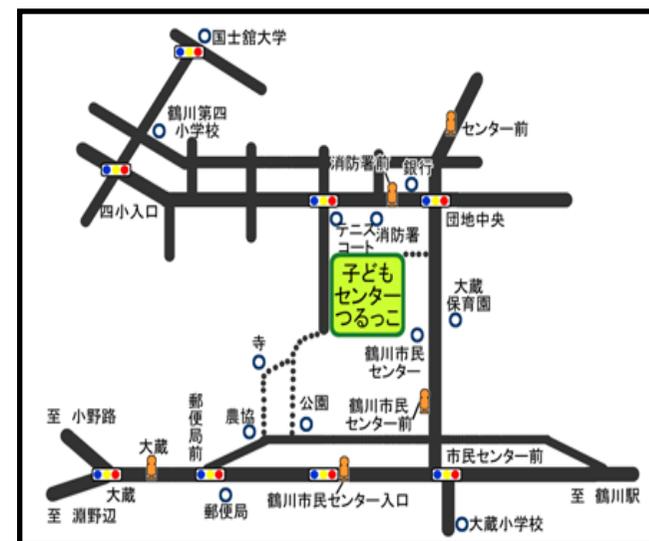
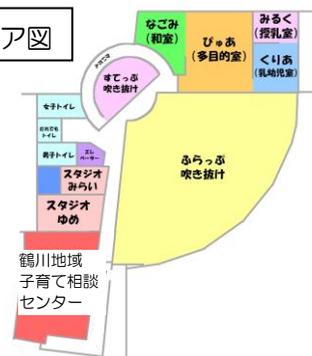
<施設プロフィール>

住所	町田市大蔵町 1913
電話番号	042-708-0236
FAX 番号	042-708-0245
建物構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2階建
延床面積	1499.42 m ²
敷地面積	6894.62 m ²
開館日	2005年4月17日

1階フロア図



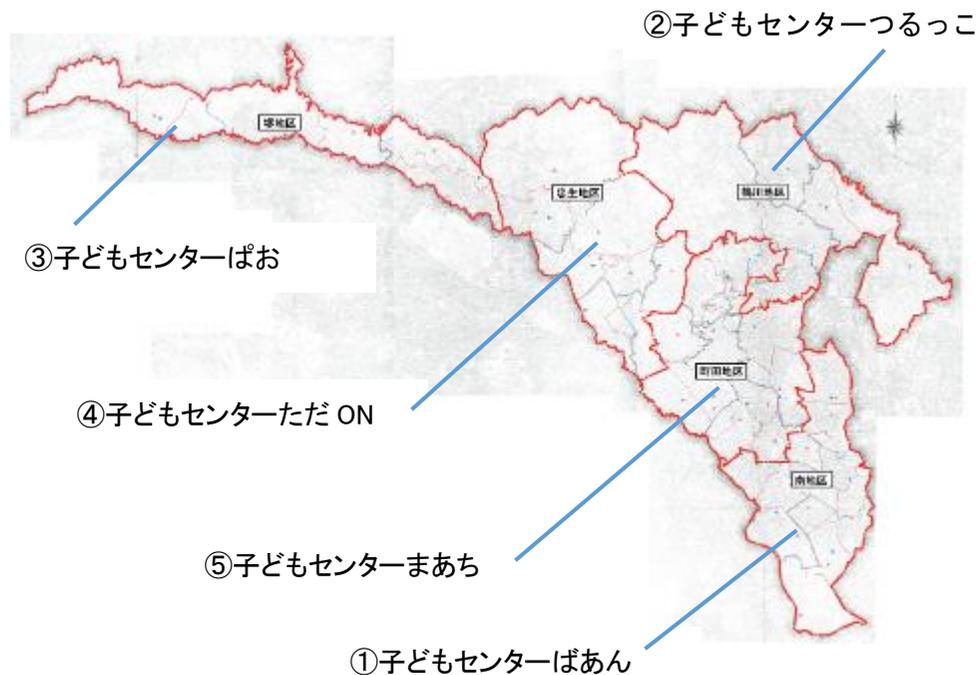
2階フロア図



町田市では、「町田市子どもセンター基本構想」に基づき、南・鶴川・塚・忠生・町田の5地区に子どもセンターを整備し終えた。2016年4月に5館目のまあちが町田地区に開館し、5館すべての子どもセンターがオープンを果たした。

子どもセンターの建設に際しては、地域住民の代表、関係機関および団体の代表、そして有識者からなる「基本計画検討委員会」を設置し、「立地条件」「コンセプト」「主要諸室」等の検討結果を基に基本計画を策定している。そのことにより、それぞれ地域特性や地域住民の意見を反映した、特色ある子どもセンターが整備されている。また、各地域の青少年健全育成地区委員会を中心とした「運営準備委員会」が、建設準備段階から関わり、協働して整備を進めていることが特徴である。

「子ども委員会」は開館後も引き続き活動し、館のルール作りやイベントの企画・運営等、主体的に子どもセンターの運営に関わっている。



開館年	子どもセンター名/開館日	地区
1999	①子どもセンターばあん開館 5/5	南地区
2005	②子どもセンターつるっこ開館 4/17	鶴川地区
2009	③子どもセンターぱお開館 4/5	塚地区
2014	④子どもセンターただON開館 1/26	忠生地区
2016	⑤子どもセンターまあち開館 4/30	町田地区

町田市「子どもセンター」年表

全=全体に関わること、ば=ばあんに関わること、つ=つるっこに関わること、ぱ=ぱおに関わること、た=ただ ON に関わること、ま=まあちに関わること

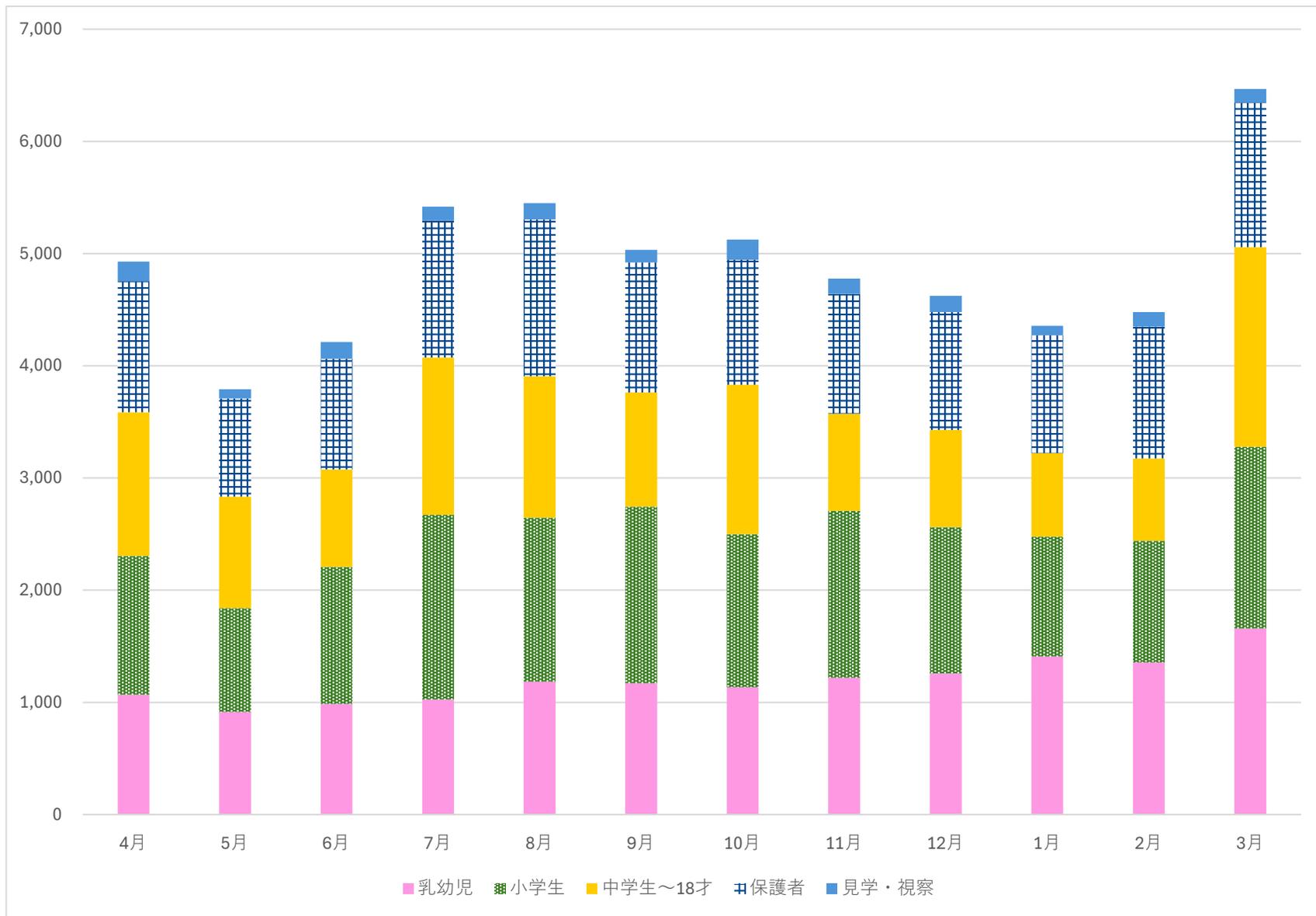
- 全 1994年 10月 ● 子どもセンターを所管する部署として青少年課を新設 [1日]
- 全 1995年 5月 ● 町田市子どもセンター建設計画検討委員会が発足
- 全 1996年 3月 ● 建設計画検討委員会より「町田市子どもセンター（仮称）のあり方について」の答申がなされ、市はこれを基本構想とし各地域（旧5ヶ町村）に建設すべく準備を始める。（町田市子どもセンター五館構想） [28日]
- 全 1996年 5月 ● 【子ども元年開幕】 “町田市子ども憲章” 制定
町田市青少年健全育成都市宣言30周年記念イベント実施 [11日]
- 全 1996年 10月 ● 青少年課内 子どもセンタープロジェクト 設置
- ば 1997年 12月 ● 「子どもセンター1号館」建設計画を議会にて承認
- ば 1998年 1月 ● （仮称）「子どもセンター1号館」新築工事着工 [24日]
- ば 1998年 4月 ● （仮称）「子どもセンター1号館」運営準備委員会発足 [18日]
- ば 1998年 5月 ● （仮称）「子どもセンター1号館」子ども委員会発足 [16日]
- 6月 ● 第1回中高生委員会 [27日]
- ば 1998年 7月 ● 子どもセンター色彩計画 [17日]
※子ども達の本来の遊び場である“自然”を連想させる“森”のイメージをコンセプトに配色。ポイントごとに淡いブルー（海・空）オレンジ（太陽）を配することにより視覚的な変化で、高揚感をあおるとともに楽しさを予感させる色彩計画となった
- ば 1998年 7月 ● 運営準備委員会が組織化される。それにともない専門部会活動始める [18日]
- ば 1998年 11月 ● 中高生の意見を聞く会 実施 [8日]
- ば 1998年 12月 ● 建設現場見学会後中高生委員会開催。館名・各部屋の名前・ロゴマーク原案決める [12日]
- ば 1998年 12月 ● 名前・ロゴマーク選考委員会開催。中高生委員会の選考作品に正式決定 [19日]
- ば 1999年 1月 ● 名称「子どもセンターばあん」及びロゴマークが発表される [16日]
子ども委員会開館時間午前10時～午後9時までについて検討
- ば 1999年 3月 ● 町田市子どもセンター条例 市議会に上程
夜間開館について職員をつけることが付帯され議決

- ば 1999年 3月 ● 子どもセンターばあん竣工〔24日〕
- ば 1999年 5月 ● 子どもセンター1号館「ばあん」が南地区にオープン〔5日〕
- つ 2001年 9月 ● 鶴川三地区の青少年健全育成地区委員会を母体として「準備委員会」発足
- ば 2001年 ● 市政懇談会で3号館として相原に子どもセンターの建設を要望
- つ 2002年 1月 ● 鶴川中学校跡地に建設地が確定
- つ 2002年 5月 ● 「鶴川子どもセンター検討委員会」発足
- つ 2002年 6月 ● (仮称)鶴川子どもセンター「子ども準備委員会」発足
- ば 2003年 ● 相原子どもセンター誘致委員会を「相原子どもセンター運営準備委員会」に改称
- つ 2004年 1月 ● (仮称)「鶴川子どもセンター」新築工事着工
- つ 2004年 12月 ● 「子どもセンターつるっこ」と名称が正式決定
- ば 2004年 ● (仮称)相原子どもセンター基本構想検討
- つ 2005年 3月 ● 子どもセンターつるっこ竣工
- つ 2005年 4月 ● 子どもセンター2号館「つるっこ」が鶴川地区にオープン〔17日〕
- た 2006年 6月 ● 地元関係者(忠生第一地区から第六地区までの青少年健全育成地区委員会、青少年委員、忠生地区の小中学校PTA、町内会等)により(仮称)忠生地区子どもセンター建設準備委員会発足。
- ば 2007年 ● 2005年に発覚した構造計算書偽造問題(姉歯事件、耐震偽装)を受けて、2006年に建築基準法の改正があったため、構造について再計算を行わなければならないとなり、工事着工が半年延期されることとなる。
- ば 2008年 1月 ● (仮称)「相原子どもセンター」新築工事着工〔31日〕
- ば 2008年 12月 ● 「子どもセンターばお」と名称が正式決定
- ば 2009年 2月 ● 子どもセンターばお 竣工〔27日〕
- ば 2009年 4月 ● 子どもセンター3号館「ばお」が堺地区にオープン〔5日〕
- た 2009年 11月 ● (仮称)忠生地区子どもセンター基本計画検討委員会発足。
- た 2010年 10月 ● (仮称)忠生地区子どもセンター基本計画(案)をまとめる。
- た 2011年 4月 ● 「T・H・D!!!」(子ども委員会)発足。
(「T・H・D!!!」とは「ともだち・ひやくにん・できるかな」の略。3つの!!!は「こども・おとな・ちいき」を表現)
- ま 2011年 7月 ● (仮称)町田地区子どもセンター建設準備委員会発足
- ま 2012年 10月 ● (仮称)町田地区子どもセンター基本計画検討委員会
- た 2012年 11月 ● (仮称)「忠生地区子どもセンター」新築工事着工

- ま 2013年 1月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター子ども委員会発足
- ま 2013年 2月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター基本計画検討委員会の中間報告を踏まえ、建設地が決定。
- ま 2013年 3月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター基本計画(案)をまとめる。同年5月に策定。
- た 2013年 7月 ● 「子どもセンターただON」と名称が正式決定
- ま 2013年 8月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター基本・実施設計を開始。
- た 2014年 1月 ● 子どもセンターただON 竣工
- た 2014年 1月 ● 子どもセンター4号館「ただON」が忠生地区にオープン [26日]
- ま 2014年 12月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター着工 [22日]
- ま 2015年 12月 ● 「子どもセンターまあち」と名称が正式決定
- ぱ 2015年 12月 ● 「子どもセンターばお分館 WAAAO」が堺地区にオープン [24日]
- ま 2016年 2月 ● 子どもセンターまあち 竣工 [12日]
- ま 2016年 4月 ● 子どもセンター5号館「まあち」が町田地区にオープン [30日]

3 利用者数集計

列1	乳幼児	小学生	中学生～18才	保護者	見学・視察	合計	(参考) 2022年度	2022年度比
4月	1,068	1,239	1,279	1,169	174	4,929	3,758	131.2%
5月	914	926	993	876	81	3,790	3,526	107.5%
6月	986	1,221	870	985	150	4,212	4,357	96.7%
7月	1,025	1,645	1,403	1,220	126	5,419	4,495	120.6%
8月	1,183	1,463	1,260	1,399	145	5,450	3,827	142.4%
9月	1,171	1,574	1,017	1,159	113	5,034	3,775	133.4%
10月	1,134	1,366	1,332	1,112	181	5,125	4,366	117.4%
11月	1,219	1,487	866	1,070	136	4,778	3,893	122.7%
12月	1,257	1,306	865	1,052	144	4,624	3,514	131.6%
1月	1,409	1,068	743	1,054	82	4,356	3,634	119.9%
2月	1,356	1,084	734	1,176	130	4,480	3,578	125.2%
3月	1,658	1,620	1,780	1,290	120	6,468	6,239	103.7%
合計	14,380	15,999	13,142	13,562	1,582	58,665	48,962	119.8%
(参考) 2022年度	11,442	14,821	10,583	10,676	1,440	48,962		
2022年度比	125.7%	107.9%	124.2%	127.0%	109.9%	119.8%		



2023年度 子どもセンターつるっこ 事業実績

1 子育て支援事業

(1) 定例事業

NO	プログラム名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係部署等	開催 回数	参加 のべ 人数	様子・成果
1	ふあんふあんたいむ	・プレイルームを広く使い、家庭ではできない体を使った遊びなどを親子で楽しむ。 ・親子同志の交流の場となる。	・手遊び、体を使った遊び、お話、ごっこ遊び、制作など ・季節イベント(ひな祭り、こどもの日、クリスマス等)	乳幼児とその保護者	原則毎月 第1、3木曜日 午前11時～11時 30分	・ボランティア	19回	730人	・季節に合わせた手遊びや制作、身体を使った遊びなど、毎月違う内容を実施することで利用者のリピートにつなげることができた。 ・親子で制作した作品を嬉しそうに見せあう姿が見られ、親子同士の交流のきっかけとなることができた。
2	すくすくパーク	・子どものペースや発達に合わせてのびのびと遊ぶ。 ・定期的につるっこを利用してもらうきっかけを作る。 ・親子同士の交流の場となる。	・トランポリンやマット、すべり台などをふらっぶ(プレイルーム)に設定し、自由に遊ぶ	乳幼児とその保護者	原則毎月 第2、4木曜日 第3日曜日 午前10時～11時 45分	・ボランティア	27回	1621人	・開館前から待っている方も多く、親子で一緒に遊ぶきっかけとなり、他の親子との交流の場となった。 ・普段出ていない大型遊具で遊ぶことで、子どもに合った遊びを選択できる場となった。 ・開催数を増やしたことで親同士の交流が促進された。
3	ぺったん子!	・保護者が手形を通して子どもの成長を感じる機会とする。 ・乳幼児を持つ保護者が気軽に来館するきっかけをつくる。	・手形足形のスタンプ	乳幼児とその保護者	原則毎月3回 (日にちは月によって変動) 午前10時～11時		27回	501人	・毎月開催することで子どもの成長を記録することが出来、保護者に好評だった。 ・開催日が複数回あるため、お子さんのその日の気分に合わせて参加することが出来ていた。
4	ベビーふあんふあんたいむ	・子育てスタート期の親子の出会いの場、ふれあいの場となる。 ・子育ての情報交換やリフレッシュのできる場となる。 ・乳児を持つ保護者が気軽に来館するきっかけをつくる。	・手遊び、わらべうた ・月替わりのプログラム(おはなし・布遊び・制作など) ・グループ交流	0歳～1歳3カ月の乳児とその保護者	原則毎月1回水曜日 午前11時～11時 30分 (午前10時30分～11時は自由遊びの時間)	・ボランティア	12回	364人	・毎月、新規参加が数名いらっしやり、子どもセンターに足を運ぶきっかけになっている。また、年齢や月齢が近い親子と知り合うきっかけとなっている。 ・兄弟児のいる先輩ママに悩みを聞いてもらったり、専門的な相談を相談センターへつなぐきっかけにもなっている。
5	ぴよばおたいむ	・絵本や紙芝居、手遊び、ふれあい遊びなどを親子で楽しむ。	・絵本や紙芝居、語り、パネルシアター、わらべ歌、ふれあい遊びなど	乳幼児とその保護者	原則毎月第4月曜日 午前11時～11時 30分	・柿の木文庫	10回	272人	・様々な本やお話に親子一緒に毎月気軽に触れられる機会となっており、リピーターが多い。参加を重ね成長するうち楽しめる演目が変わっていく子どもの様子を、保護者と演じ手が見守り喜び合う姿も見られた。

NO	プログラム名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係部署等	開催 回数	参加 のべ 人数	様子・成果
6	金井ランド	<ul style="list-style-type: none"> ・普段子どもセンターに遠くてなかなか行けない方の、子育てスタート期の親子の出会いの場、ふれあいの場となる。 ・子育ての情報交換やリフレッシュのできる場となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金井の町内会館「金井クラブ」で実施する出張プログラム ・玩具での自由遊び、保護者同士の交流、工作や読み聞かせ、手遊びなど 	0～3歳児とその保護者	原則毎月1回水曜日 午前10時30分～11時30分	<ul style="list-style-type: none"> ・【共催】鶴川地域子育て相談センター ・【協力】金井町内会 	11回	203人	<ul style="list-style-type: none"> ・2階和室が開催場所だったこともあり0歳～3歳児を対象としたが、0～1歳児の利用が多く、程よい広さで開催することが出来た。 ・参加者は歩きや自転車でいらっしゃるばかりで、近隣の親子と知り合うきっかけとなっていた。
7	親子で幸せの時間 ベビーマッサージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーマッサージを通して、親子の関わりのきっかけをつくる。 ・乳児をもつ保護者同士の交流を促し、子育ての不安を軽減・解消する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーマッサージ体験 ・保護者同士の交流 	2ヶ月～1歳未満とその保護者	5/14(日)、6/7(水)、7/10(月)、9/11(月)、10/22(日)、11/15(水)、12/11(月)、3/17(日) 午前10時30分～正午	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーマッサージインストラクター 	8回	90人	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーマッサージ参加をきっかけに初来館し、以降日常的に利用する親子も多い。 ・父親同伴の参加もあり、父親も積極的に体験する姿が見られた。マッサージの体験に加え交流がとても喜ばれており、終了後アンケートでは、「家族以外の大人と久しぶりに会話をした。」「他の保護者の話が聞けて良かった。」など好評であった。
8	つながる町だふあみりー×つるっこ企画 ベビー&キッズ用品くるくるリユースタイム	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の活動を支援し活躍を促し、地域力の向上を目指す。 ・つるっこ利用者と同じママの立場からアドバイスや地域情報の提供を行う。 ・つるっこの新規の利用者の獲得と定着をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビー、キッズ用品のリユース(配布および回収) 	どなたでも	10/12(木)、11/17(金)、12/15(金)、1/19(金)、2/16(金) 午前10時30分～11時45分	つながる町だふあみりー	5回	472人	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の活動場所の拡充とつるっこ利用者のニーズが合致し、今年度から実施することができた。 ・時間前から待つ人がいるほど人気があり、もらっただけでなく、家庭で不要になった洋服などを寄付する方も多く、有意義なりユースの場となっている。

(2)単発事業

NO	プログラム名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係部署等	開催 回数	参加 のべ 人数	様子・成果
1	パパとあそぼう!!	・父親の育児参加支援、父親同士の交流、親子遊びを楽しむ。	・ふれあい遊び、親子ゲーム、お話 ・交流タイム	乳幼児とその父親(父親以外の保護者の参加も可)	6/11(日)、9/10(日)、12/10(日)、3/10(日) 午前10時30分～11時30分	・ボランティア	4回	176人	・リピーターの父子、母親も一緒に参加に加え、母親に参加を勧められたと緊張気味に参加される父子も毎回いた。交流タイムをきっかけに、その後の時間に他の親子とコミュニケーションをとっている姿や、後日父子での時間をつるっこで過ごしている姿も見られる。大きな布を使う等ダイナミックな遊びが好評で、親子で楽しめたとの感想も多かった。
2	ふあんふあん水遊び	・家庭ではできない水を使った遊びなどを親子で楽しむ。 ・親子同志の交流の場となる。	水遊び	乳幼児とその保護者	7/20(木)、9/7(木) 午前10時30分～11時30分	【共催】鶴川地域子育て相談センター	2回	45人	・初めての水遊びの子もいたため、たらいや噴水マット等、お子さんの発達にあった遊び方が出来るよう環境設定を行った。 ・家庭では難しい、水遊びを親子で楽しみ、夏を感じられる活動となった。
3	柿の木文庫 夏のおはなし会	・夏ならではのお話を通して、物語の世界を楽しみ、本やお話への興味や関心を深める。	・ふれあい遊び、読み聞かせ、パネルシアター、紙芝居等 ①0～2歳向け ②3歳～小学生向け	どなたでも	8/28(月) ①午前11時～11時25分 0～2歳向け ②午前11時30分～正午 3歳～小学生向け	・柿の木文庫	1回	71人	・親子が気軽に、手作りの絵本や人形を使用しておはなしに触れられる機会として、とても楽しみに参加される方が多かった。お話を通して季節を感じたり、目の前で演じられる臨場感を味わうことができていた。 ①会の初めの優しいベルの音で子どもたちがよく集中していた。歌が入る演目多く、低月齢児親子も楽しんでいた様子。 ②語りや、やりとりをしながら進める紙芝居など、小学生でも楽しめる内容だった。
4	親子で忍者ごっこ	・親子で身体を動かす機会をつくり、運動への関心を高める。 ・親子で身体を動かすことで、楽しい時間を共有し、親子の関わりのきっかけとなる。	・忍者になりきり、身体を動かす(走る、静かに歩く、ジャンプ等)	①1歳～3歳とその保護者 ②3～5歳とその保護者	①9/22(金)午前10時30分～11時 ②9/30(土)午前10時30分～11時10分	・NPO法人アスレチッククラブ町田(町田ゼルビアスポーツクラブ) ・スポーツ振興課	2回	68人	・忍者になりきり、講師の動きを真似ながら親子で一緒に楽しそうに身体を動かしていた。 ・3～5歳対象回では、ただ講師の真似をするだけでなく、他児と競うようにジャンプをしたり、手裏剣を投げたり、しながら、身体を動かす姿が見られた。

NO	プログラム名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係部署等	開催 回数	参加 のべ 人数	様子・成果
5	おはなしと音で楽しむクリスマス	・季節にちなんだ歌やおはなし、生の楽器の音を親子で共に感じ体験を共有することで、親子の関わりが豊かになり、子育てをより楽しめるようになる。 ・地域ボランティアによる事業を実施することにより、ボランティアの活躍の機会が増え、利用者・地域・地域ボランティアのつながりが深まる。	・キーボードの生演奏と歌に合わせた歌とおはなしと、楽器体験。	どなたでも	12/18(月) 午前11時～11時30分	地域ボランティア	1回	51人	・生の演奏や楽器に触れられる体験を親子で楽しんでいる様子がとても多く見受けられ、終了後も楽器や手作り絵本に興味を持ち触れに来る親子がいた。 ・たくさんの親子と時間を共にし楽しめたことを、演者もとても喜び、今後の活動についても提案があった。
6	柿の木文庫のおはなし会 クリスマススペシャル	・冬ならではのお話を通して、物語の世界を楽しみ、本やお話への興味や関心を深める。	・ふれあい遊び、読み聞かせ、パネルシアター、紙芝居等 ①0～2歳向け ②3歳～小学生向け	どなたでも	12/24(日) ①午前11時～11時25分 0～2歳向け ②午前11時30分～正午 3歳～小学生向け	・柿の木文庫	1回	46人	・つるっこでは初めての冬のおはなし会。毎月のおはなし会でなじみのあるふれあい遊びやわらべ歌と、冬・クリスマスを感じられる演目を組み合わせた構成。声や音のする場所に気持ちを向けることのきっかけとなり『見る』ことにつながっていた。体験を重ねることで様々な力が身についていく事がわかったとの感想が聞かれた。
7	ベビー用品無料回収会	・「物を大切にすること」や「リユース品の活用」などのエコライフに関心を持つきっかけになる。	・ベビー用品で不要になった対象品目の物を回収	町田市内在住	・回収会 10/14(土) 午前11時～午後2時	・【共催】エコライフ推進公社	1回		持ち込み者数は33名(家族)、回収数は171点でした。 開始時間を待つ方もいるほど、ニーズの高い事業で、使えるものは次の方に活用してほしいという気持ちを感じられた。

2 子育て支援事業

(1) 定例事業

NO	プログラム名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係課等	開催 回数	参加 のべ 人数	様子・成果
1	子ども委員会	<ul style="list-style-type: none"> 利用者である子どもたちの意見を子どもセンターの運営に反映させる。 子どもたちが、主体的に子どもセンター運営に参画することを通して、やりがいや達成感を味わい、それぞれの成長につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもセンターつるっこをより楽しくするためのイベント(祭りや遊びなど)の企画及び運営 子どもセンターつるっこのルール作りや、館内表示の作成 地域のイベントなどへの協力 	小学3年生～18歳	原則毎月1、2、3 土曜日 午後3時～5時 ※イベント前は必要に応じて実施	<ul style="list-style-type: none"> 子ども委員会OB、OG つるっこ応援し隊 	39回	300人	<ul style="list-style-type: none"> 長年中心となって活動してきた高校生メンバーが受験勉強等のため活動への参加が難しい日も多く、高校2年の副委員長と小学生を中心に活動することが多かった。6月に三輪子どもクラブの開館記念イベントへの参加という新たな活動も入り、精力的に活動していた。 主催イベントの際には、普段参加できていない高校生やOBの力も加わり、自分たちが立案した事を実現したくさんのお客さんに喜んでもらい達成感や充実感を感じるとともに、次に向けての改善点にも気付く事ができていた。 子ども委員の仲間を増やすためにはどうしたら良いかアイデアを出し合い、実現に向けて活動をした。
2	子ども委員会企画 あ～そぼっ！	<ul style="list-style-type: none"> 集団遊びを通して他の子との関わり方を知る。 子ども委員がリーダーシップを取る力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども委員会の発案により、子ども委員会が運営する活動 	小学生～18歳	毎月1、3土曜日 午後2時～3時	<ul style="list-style-type: none"> 子ども委員会OB、OG 	19回	293人	<ul style="list-style-type: none"> 参加対象が広いと、皆で一緒に安全にドッジボールを楽しむために、年齢の高い子どもが加減をしたり、気遣いを見せることが多かった。 新しく子ども委員の仲間に加わったメンバーも、中高生に教わりながらコートや準備片付けに関わりながら役割を覚えていた。 参加者が楽しんでいる様子を見て、活動のやりがいを感じている子ども委員が多かった。
3	つるっこをかざろう！	<ul style="list-style-type: none"> 季節の装飾作りを楽しむ。 みんなでするっこの壁を飾る楽しさを味わう。 来館者に季節感のある手作りの飾りを楽しんでもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節に合った装飾の制作 	どなたでも	奇数月第4水曜日 午後3時～5時		6回	61人	<ul style="list-style-type: none"> じゃばら折り、ペーパークイリング等様々な手法を使い、階段の広い壁面を飾る装飾を作成。作業を繰り返すうちに上達することを喜ぶ姿も度々見られた。 来館者が季節の装飾を見て親子で会話をしたり、そっと触れてみたり、飾られた作品を見せるために保護者を連れて来館する小学生の参加者もいた。

NO	プログラム名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係課等	開催 回数	参加 のべ 人数	様子・成果
4	電車と車のおもちゃで遊ぼう♪	・広いスペースで、おもちゃを使って遊び、親子や友達同士で楽しみながら交流をする。	・たくさんの列車やレール、ミニカーを使った自由遊び	どなたでも	毎月第1日曜日 午前10時～午後3時	・中学生ボランティア	11回	308人	・たくさんレールや情景パーツで自由にレイアウトしての遊びに加え、コースを作らなくても中学生ボランティアが作ったレールのコースで様々な電車を走らせて遊べるようになり、とても喜ばれている。 ・電車好きの小中学生の提案を受け活動の幅が広がるとともに、その小中学生と幼児親子の交流が自然に生まれている。
5	ユニカールに挑戦!	・年代や体力に関係なく誰でも楽しめるスポーツを楽しむ。	・石の投げ方の練習 ・ルール説明 ・試合	5歳～18歳とその保護者	原則奇数月に1回 土曜日 5/27、7/22、 9/23、1/27、 3/23 午後1時30分～3時30分	・町田市ユニカール協会	5回	147人	・年度初めは少なかった参加者であったが、後半にはユニカールを目当てに楽しみにして来館する姿もあり、参加が増えていった。 ・ユニカール協会の方が毎回、幼児用・低学年用と3年生以上用と別れてゲームができるように、2レーン用意してくださる。全く初めてで参加に勇気がいる幼児さんも、保護者の方と一緒に参加したり、スモールステップで褒めてもらえたりと、終盤にはストーンを投げるスキルも上がり、自信をつけていく様子が毎回見られた。
6	おもちゃ病院	・壊れてしまってもすぐに捨てるのではなく、修理をすれば繰り返し使用できるという実体験を提供する。 ・物を大切にすることを育む。	・壊れたおもちゃの修理	どなたでも	偶数月の第3土曜日 午前10時～午後2時 (受付時間)	・おもちゃ病院まちだ	6回		・つるっこの開院日の問い合わせが複数あったため、次回開院日を知らせるポスターを常に掲示するようにしたところ、来館している子どもたちの認知度も上がり、子ども自身の意思でおもちゃを持参するケースが生まれた。 ・治療するドクターの手元に関心を持ったり、治療が無事に終わり大切に持ち帰る様子を見て、自分の好きなおもちゃのことについて会話が弾む姿も見られた。
7	たまてばことあそぼう	・大学生と一緒に遊び、楽しい時間を過ごす。 ・地域の大学生に活躍の場を提供する。	・遊び、工作、レクリエーション	小学生	毎月第2土曜日 午後2時～4時	・和光大学児童文化研究会「たまてばこ」	8回	180人	・毎回、大学生と一緒に思い切り走ったり、身体を動かしたり、ダイナミックな遊びを取り入れ、小学生に人気の事業である。 ・今年に入り、たまてばこの学生さんの人数が減ってしまったため、実施できない月もあった。 ・今後はプログラム内容を子どもセンターで用意したり、当日の足りない人員もスタッフが関わることをお伝えで、事業を継続していきたい。

NO	プログラム名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係課等	開催 回数	参加 のべ 人数	様子・成果
8	Teen Communication Club	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが学校で学んでいる英語を使って会話をすることが楽しいと感じる ・挨拶やゲームを通じて英語を用いてコミュニケーションすることを楽しむ ・いろんな人が自分たちの住む地域に住んでいることに気づき意識したり、文化の違いを知ることによって世界に目を向けるきっかけとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を用いた挨拶・会話・ゲーム 	中学生以上	毎月1回日曜日 午後4時～5時	多分化クラブ DANRO	4回	25人	<ul style="list-style-type: none"> ・最初のうちは参加者の表情も硬く、発語も少なかった。講師のシンシアさんがユーモアたっぷりで雰囲気や和らげながら進めてくれるため、回を重ねるうちに、徐々に自分らしさを出せるようになっていった。 ・チーム対抗戦のゲームでは、一体感を出し、お題の発表の際も照れずに行うことが出来た。安心して自分を出せる時間となり、英語を発する照れも徐々になくなっていき、笑顔がもれるようになった。
9	すまいるクッキング	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子(料理)を作る楽しさを感じる ・使用する食材や、作り方を知ること、自分でも作れるという自信をもつ機会となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なレシピのおやつ作り 参加費:300円	小学3年生～18 歳	毎月第3水曜日 午後4時～5時30 分	・ボランティア	5回	50人	<ul style="list-style-type: none"> ・材料を混ぜて形成し焼くだけの簡単な調理と、皆での試食を楽しむことを中心の活動とした。形成の工程を楽しむ姿が多く見られた。 ・簡単に手に入る食材で、自分でおいしく作れることを知り、とても嬉しそうにレシピを持ち帰ったり、今後も参加したいとメニューのリクエストをする姿も見られた。
10	きまぐれぬりえ	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年齢の子どもがいつでも楽しめる事業として、つるっこでの過ごし方の幅を広げる。 ・自分で絵柄を選んで、ぬりえを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に選んで楽しむぬりえ 	どなたでも	開館時間内なら いつでも			1435人	<ul style="list-style-type: none"> ・常時15種類程の絵柄の中から好きなものを選べるようにしており、定期的な入れ替えを楽しみにしている子どもも多い。季節感のあるもの、乗り物、動物のほか、つるっこのキャラクター『つくくん』のぬりえも新たに加わり、好評である。 ・つるっこでの過ごし方が広がると共に、ぬりえに興味を持つきっかけにもなっている。
11	きまぐれこうさく	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年齢の子どもがいつでも楽しめる事業として、つるっこでの過ごし方の幅を広げる。 ・工作の楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に選んで楽しむ工作 	どなたでも	開館時間内なら いつでも			1366人	<ul style="list-style-type: none"> ・常時3種類程の中から選んで工作ができるようにしている。季節行事にちなんだものに加え定番の手作りおもちゃやパズルも用意することで、あそびの幅も広がっている。 ・工作を楽しみにしている子どもが多く、保護者の関心度も高い。来館の動機の一つとなっている。

(2)単発事業

NO	プログラム名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係課等	開催 回数	参加 のべ 人数	様子・成果
1	芝生ひろばで水鉄砲!	・夏ならではの遊びを思いっきり楽しむ。	・水鉄砲合戦 ・自由水鉄砲遊び	小学生～18歳	7/24(月) 午前10時30分～ 11時30分		1回	31人	・楽しみにしている子も多く、開館前から背に大きな水鉄砲をかついだ来館者が続々と集まってきた。 ・昨年の課題を生かし、子どもたちの待ち時間が短縮したこともあり、参加者の満足度は高かった。 ・当日は、気温が暑すぎず、参加者は終了時間まで思い切り水遊びを楽しんでいた。
2	陶芸教室	・粘土の感触を楽しみながら制作し、作品が完成した時の達成感を味わう。 ・自分で作った作品を飾ったり使ったりする喜びを味わう。	①お皿やコップなどの形作り ②素焼きした作品に絵や釉薬をつけて仕上げ ・参加費:300円	小学生～18歳	①7/26(水)② 8/10(水) ①3/9(土)② 3/23(土) いずれも午前10 時15分～12時15 分	・ボランティア	4回	50人	・ひんやりと冷たくしっとりとした粘土を手で感じながら形成し、思い思いに装飾をする作業に、夢中で取り組んでいた。色付け作業では、釉薬よりも絵の具での着色を選ぶ子どもが多く、作品には子どもたちの個性が感じられた。 ・作品引き渡し時、とても嬉しそうに完成した作品を受け取る姿が見られた。作品を通して作った子どもと保護者、職員とのコミュニケーションが生まれていた。
3	子どもセンターでガラス体験	・ガラスの性質から、扱い方の注意点を学び、ガラス製品の魅力に触れる。 ・専用の道具を使い、ガラス工芸を体験する。	・ガラスコップを専用の道具で好きな模様にする ・参加費:500円	小学3年生～18歳とその保護者	7/27(木) ①午後1時～2時 ②午後3時～4時	・ガラス作家 ・【共催】文化振興課博物館	1回	33人	・下絵を予め用意している子は、それをコップの内側に入れてアウトラインを黒ペンで引き、電動のペンで削っていく。用意して来なかった場合でも、イラスト図が用意されているため、好きなものを切り取って、削っていった。 ・講師の先生が、細やかに指導していただけたことにより、子どもたちは道具にも慣れ、作品作りに集中していた。

NO	プログラム名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係課等	開催 回数	参加 のべ 人数	様子・成果
4	リサイクルガラス 砂絵	・日常的に使用している瓶を有効利用し、きれいなガラス砂絵の素材に変わることを知るとともに、作品を完成させる喜びを味わう。 ・リユース、リデュース、リサイクルの仕組みを知り、環境問題に興味と関心を持つ。	・リサイクルガラスを使った制作 ・リサイクルの取り組みの説明	小学生～18歳	7/28(金) 午前10時30分～ 午後12時30分	・【共催】まちだエコライフ推進公社	1回	20人	・ガラス砂を大胆に乗せていく子、竹串を使いながら丁寧に乗せていく子、まちだエコライフ推進公社の方が、それぞれにあわせて指導してくださったこともあり、作品には個性がよくでていた。 ・リサイクルについても、わかりやすく解説していただき、参加者の理解も高かった。
5	まちけあ★キッズ inつるっこ	・様々な体験を通して、介護の仕事に興味や関心を持つ。	・看護師体験 ・介護士体験 ・栄養士体験	小学生	8/2(水) 午前10時15分～ 正午	・【共催】町田市 介護人材開発センター ・社会福祉法人 福音会 ・社会福祉法人 清風園 ・野津田高等学校 ・いきいき生活部 いきいき総務課	1回	12人	・高校生ボランティアが最初にハンカチ落としでアイスブレイクしてくれたため、参加者は緊張もほぐれ、介護士、看護師、栄養士体験を行えた。 ・毎年、大勢の大人が関わる事業だが、事前の打合せも綿密に行われており、スムーズに実施でき、参加者の満足は高かった。
6	水ライトをつくらう	・様々な体験活動を通して、興味関心を広げる。 ・地域の方と子どもたちの交流の場となる。	・道具の使い方の説明 ・水ライトづくり ・参加費:500円	小学生～18歳	8/4(木) 午前10時15分～ 11時45分	・アニメ理科実験 教室	1回	16人	・講師の方が動画を交えて、進行くださったことで、参加者は興味が深まり、内容の理解も早かった。 ・参加者は、自分で作ったライトの点灯に笑顔になり、プログラムに満足されているようであった。
7	自由工作タイム	・廃材をうまく工夫しながら、自由に形を作り上げ、イメージを形にする楽しさと完成した時の達成感を味わう。	・以下の材料、道具を使える自由工作 【材料】木端、空き箱、紙類、発砲トレーなど 【道具】はさみ、糊やボンド、テープなど	どなたでも	8/17(木)、18 (金) いずれも午前11 時～午後4時		2回	32人	・両日とも開始時間と同時に親子での参加がある。各自思い思いの空き箱や木材を使いながら、作品を仕上げていく。見立てが個性的で、廃材工作といえど発想が豊かである。かなりの集中力で取り組んでいた。 ・2日目はアイロンビーズを出す、まずはアイロンビーズに取り組む子が多かった。付き添いの保護者も隣で暖かく見守り、未就学児については保護者との合作となり、嬉しそうに持ち帰っていた。

NO	プログラム名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係課等	開催 回数	参加 のべ 人数	様子・成果
8	バドミントンを楽しもう!	・スポーツを皆でやる楽しさを感じる。 ・活動を通して、地域の方と子どもたちが関わりを持つきっかけとなる。	・講師の指導によるバドミントン体験教室	小学生～18歳	8/19(土) 午前10時15分～ 正午	・日本スポーツ協会バドミントン公認指導員	1回	16人	・夏休み子どもフェア冊子に掲載されたこともあり、普段のバドミントン教室に比べ、参加者が多かった。 ・初心者でありラケットに当たらなかった子ども、練習とともに、あたる回数が増え、笑顔が増えてきた。 ・上手な子ども講師の方とたくさんのラリーができ、とても満足のようにであった。
9	すまいるクッキング「ギョーザの皮ピザ」	・簡単なレシピのおやつを提案することで、家でもおやつ作りや料理に関心を持つきっかけとなる。	・簡単なレシピのおやつ作り 参加費:200円	小学生～18歳	8/25(金) 午後2時～3時		1回	6人	・2回の実施予定であったが、参加応募が第1回のみであったため、実施回数を1回とした。 ・最初に作り方を説明し、手洗いの後、餃子の皮5枚にそれぞれ好きな具を乗せていく。控えめに乗せる子、てんこ盛りに乗せる子、それぞれであった。 ・焼き立てのピザを「おいしい」と言いながらほおぼっていた。
10	自然観察会 かわのいきものを みてみよう!	・体験活動を通して、興味関心を広げる。 ・地域の方と子どもたちの交流の場となる。	鶴見川でのいきもの探しと観察	小学3年生～18歳とその保護者	8/26(土)午前10時～12時	和光大学地域環境共生フォーラム 三輪子どもクラブ	1回	20人	ポプリホール鶴川に集合し、身支度を整え、徒歩数分に位置する大正橋へ移動。「かわ道楽」の方から、川の危険や安全な遊び方などのレクチャーの後、川に降りて生き物探しをはじめ。参加者は、魚や水生昆虫を身近な鶴見川で見つけることができとても満足そうであった。
11	足が速くなる! 走り方教室	・身体の仕組みを知り、速く走るための身体の動かし方を知る。 ・身体を動かす楽しみを知る。	・ストレッチ方法や走る際の身体の使い方を知る	小学生	9/18(月祝)午前 10時30分～11時 30分	・メガロス町田	1回	29人	・ストレッチから遊びの要素も組み込まれていて、参加者は、楽し身体を動かす楽しさを知ることが出来ていた。 ・足が速くなるための体の使い方(動かし方)を知ることが出来、参加者だけでなく、保護者からも好評だった。

NO	プログラム名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係課等	開催 回数	参加 のべ 人数	様子・成果
12	薬剤師体験	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の事業者と協力していただき、様々な仕事に触れ社会を身近に感じる。 ・地域事業者と子どもたちの交流の機会とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師のお仕事体験 ・分包機操作、シロップ作製、薬説明体験 	小学生～18歳	11/3(祝) 午前11時～午後3時	・町田市薬剤師会	1回	31人	<ul style="list-style-type: none"> ・普段見ることのできない機械に興味を持ち、薬剤師の方に質問したり、薬の説明体験では患者さんの気持ちになって説明をするなど、子どもたちは熱心に参加していた。
13	ふれあい動物ランド 「ふれあい体験」	<ul style="list-style-type: none"> ・動物とふれあい、心地よい時間を過ごす。 ・動物に対する優しい気持ちを育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うさぎやひよこ、モルモットなどの動物とのふれあい 	0歳～18歳とその保護者	11/23(木祝) 午前10時～午後2時	・【事業委託】 (株)どうぶつむら	1回	207人	<ul style="list-style-type: none"> ・午前中の第1回目は定員を超えたため抽選となるが、漏れた方も第二希望の回に参加することができた。当日受付での参加もあり、午前中の早い時間からどんどん定員が埋まっていた。午後も来館していた小学生が参加するなど、結果全6回の定員がすべて満員となった。 ・事業者の丁寧な説明もあり、参加者は優しく動物にふれあい、会場を和やかな雰囲気となった。
14	ふれあい動物ランド 「スタッフ体験」	<ul style="list-style-type: none"> ・動物とふれあい、心地よい時間を過ごす。 ・動物に対する優しい気持ちを育む。 ・動物に関わる仕事の魅力や苦労などを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エサの準備や来場者への説明などの仕事体験 	小学4年生～18歳	11/23(火祝) 午前10時～午後2時	・【事業委託】 (株)どうぶつむら	1回	3人	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ体験の3名は去年の経験者、野菜切りから、お客さんへのルール説明担当など、自分たちも動物に触れあいながら、担当を交代して行うなど、スムーズな進行だった。 ・スタッフ体験ということで、多く動物にふれ、愛着が増しているようだった。
15	ユニバーサルスポーツ大会！	<ul style="list-style-type: none"> ・年代や体力を越えて誰でも楽しめるスポーツを皆で楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・石の投げ方の練習 ・ルール説明 ・試合 	5歳～18歳とその保護者	11/25(土) 午後1時30分～3時30分	・町田市ユニバーサル協会 ・野津田高校ボランティア同好会	1回	39人	<ul style="list-style-type: none"> ・例年のユニバーサル大会に加えて、野津田高校ユニバーサル同好会によるモルック、ボッチャ体験が加わり、3種のユニバーサルスポーツを体験できる開会となった。 ・開始早々、楽しみに待っていた来館者たちが野津田高校の生徒たちに丁寧に対応してもらいながら参加していた。高校の引率の教員が、年齢に合わせた来館者対応をスムーズにできる生徒の姿に驚いていた。 ・最後の表彰式では、上位3名に賞状が授与され、受賞者はとても誇らしげに喜んでいました。

NO	プログラム名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係課等	開催 回数	参加 のべ 人数	様子・成果
16	若者が市長と語る会	・市長と直接話し、学校のことや自分たちが暮らす「鶴川」や「町田」への想いを伝える ・市長から意見や質問について回答を得、今後の町田についての展望を考えるきっかけとする	・市長と若者の自己紹介 ・市長と意見交換 (テーマについては、子ども委員会や参加者から意見が上がった中から当日発表)	中学生～18才	11/26(日) 午後4時30分～ 午後7時	・市民協働推進課	1回	8人	・事前ワークショップに出られなかった5名を含む8名が参加。開始前の1時間前に集合し、流れとテーマについて確認する。テーマは「学校のこと」と「まちのこと」、それぞれが学校に関してこうだったらいいなという思いや、鶴川、町田愛を語っていった。途中、自分の名前の由来発表などもあったが、発表者に温かく反応するなど、子どもセンターつるっこの雰囲気が出ている会だった。
17	つくくんおみくじ	・年始のおみくじを通して、つるっこをより居心地よく、楽しい場所と感じてもらう。	・職員作成によるおみくじの提供	乳幼児～18歳とその保護者	1/7(日)～1/14(日)		1回	416人	期間限定で来館者みな一人1回引くことが出来るつるっこオリジナルキャラクターつくくんが書かれたおみくじ。初めておみくじを引く乳幼児もいたり、付き添いの保護者にもどうぞと声をかけると喜んで引いてくれた。くじの種類は6種類、大吉をひくと、大人も子どもも大喜びだった。
18	冬の鳥を見にいこう！！	・野鳥観察を通して、鳥や川などの自然をに興味を持つ ・野鳥についての知識を習得する	・大正橋より川沿いを上流へ1.5kmほど歩きながら、肉眼、もしくは双眼鏡で野鳥を観察する。 ・講師より、野鳥のオスメスの見分け方などのレクチャーを受ける	小学生～18歳とその保護者	2/17(土) 9時30分～12時	・和光大学 ・MIWA～GO	1回	2人	・鶴見川沿いを1時間半ほどかけて歩いて20種類近くの鳥を観察することが出来た。参加した2名は喜んで双眼鏡を覗いていたが、最後の方は少し歩き疲れているようだった。
19	ジュノン君と！お絵かき時間	・絵を描くことのコツの一つを知り、お絵かきを楽しむ。 ・地域の若者と子どもたちの交流の機会とする。	・若者に教えてもらうお絵かき	小学生～18歳	3/6(水) 午後3時～5時	・地域ボランティア	1回	3人	・初めてのお絵描きプログラム。館内にコーナーを設け自由に参加できる形で実施。2名の小学生女児が参加してくれた。 ・イラストを書くのが好きな2人は、講師のアドバイスをしっかり聞き、実践していた。ピースの描き方や顔のパーツの位置、絵のバランスについて教わり、とても楽しそうにお絵かきを楽しんでいた。 ・参加者が少なかったため、何度か館内で声掛けを行ったが、別の過ごし方に興味がある子が多く、今後の実施への課題となった。
20	交通安全ミーティング	・交通安全担当課による、子どもからの意見収集の場の提供 ・子どもたちの交通安全啓発	・交通安全クイズ ・意見交換	小学生～18歳	3/16(土) 午後2時～2時45分	・市民生活安全課	1回	8人	・クイズで、楽しい雰囲気となったあと、交通安全についての子どもたちの意見交換を行った。 ・「自転車を車道で乗るのは難しい」「歩道が狭くてあぶないところがある」など子どもたちの視点で、交通安全について考え、意見を伝えていた。

NO	プログラム名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係課等	開催 回数	参加 のべ 人数	様子・成果
21	Fステ	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生が主体的な活動を通して達成感を味わうとともに、様々な人との関わりを通して社会性を育む ・つるっこのスタジオを利用しているバンドが大勢の観客の前で演奏する機会とする ・出演者・観覧者ともに音楽の楽しさを共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもセンターで実施することによって、幅広い年代の観覧者にPRすることができ、本人たちの自信となる。 ・他バンドと交流するなかで、横のつながりができ、今後のそれぞれの発展につながる。 ・参加した中高生がつるっこや地域により愛着をもち、スタジオ以外での利用や地域での活躍につなげる。 	中学生～18才	3/20(水祝) 午後2時～午後4時45分	・音響ボランティア	1回	145人	<ul style="list-style-type: none"> ・当日は開館からふらっぷは閉め、出演者と共にステージ設営の準備を行う。人数が多数いたため、ステージの設営、暗幕の設置、椅子を並べる、楽器をスタジオから下ろしてくるなど、手分けして進めていった。 ・バンド、ピアノ独奏、アコギ弾き語りなど8組が出演した。最終バンドでは、アンコールもあり、バンドのコラボもありで観客もスタンディングで大盛り上がりとなった。 ・幼児さんも保護者と見に来てくれ、一緒に楽しんでいた。
22	理科実験教室 色の見え方マジック	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに科学の楽しさを知ってもらう。 ・日常生活で経験する身近な自然現象(光の性質)に興味を持ち、科学技術と生活とのつながり、理解につなげる。 ・地域の協力者と連携し、地域の子どもたちに楽しい時間を提供し、地域の方と子どもたちの交流の場とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色の見え方の不思議について、ブンブンごまを作成し、理解を深めていく 	小学3年生～18歳	3/29(金) 午前10時30分～正午	・鶴川サイエンスラボ	1回	3人	<ul style="list-style-type: none"> ・色の三原則を教えてもらい、青緑赤が混ざると透明の光になることを学ぶ。その後、各自に配られたブンブンごまに赤青緑のドットのシールを貼り何色になるかを実験する。講師の方のいろいろな提案に、参加者は興味津々の様子であった。 ・内容的には中学生向けだったが、興味のある3名の参加だったため、理解度は高かったようだ。
23	スタジオ利用講習会	<ul style="list-style-type: none"> ・スタジオを利用する際のルールとマナーを知る。 ・中学生～18歳の子どもセンター利用のきっかけとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタジオのルールとマナーの説明 ・ミキサーとアンプの基本的な使い方の実習 	中学生～18才	受講者の希望により実施		40回	71人	2023年度に比べ、回数は18回、受講者は27人増加しました。
24	地域プログラムサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムや会場の提供、活動の相談などを通して、子どもを対象として地域活動を支援する。 ・つるっこのPR・来館のきっかけにつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムサービス ・活動相談対応 	子ども会・地区委員会などの子ども団体、学校等				44人	<ul style="list-style-type: none"> ・11/29(水)、12/13(水)に鶴川中学校の生徒に、陶芸のプログラムサービスを実施。事前学習で思い描いた作品を実際に形成する作業に、集中して取り組んでいた。

3 イベント

NO	イベント名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係課等	参加 総数	様子・成果
1	あにばーさりい18	・子どもセンターつるっこ18歳の誕生日を記念し、子どもたちが、地域の方々のノウハウを活かしたコーナーで楽しみ、地域やつるっこに親しみを深める。	遊び プラバン工作、スタンプラリー、ヨーヨーつり、竹でっぼう、木工遊び、輪投げ、コリントゲームコーナー、色々ゲーム 模擬店 チョコバナナ、ミニラーメン、フランクフルト、わたあめ、各種パン、ジャガバター、ふかしもち 展示等 消防車展示、消火器体験 みえるくん展示、ごみ収集体験 新たな学校づくりPRコーナー ステージ発表 チアダンス、バンド演奏、ピアノ演奏、打楽器アンサンブル、ジャグリング、チアダンス、イラストコンテスト表彰、エイサー	どなたでも	4/16(日) 午前11時～午後3時	・子ども委員会 ・つるっこ応援し隊 ・鶴川第一地区委員会 ・鶴川第二地区委員会 ・鶴川第三地区委員会 ・公団住宅鶴川団地自治会 ・金井町内会 ・東京土建町田支部鶴川分会 ・和光大学児童文化研究会「たまてばこ」 ・三輪子どもクラブ「MIWA～GO」子ども委員会 ・きつねはらっぱ冒険あそび ・町田消防署鶴川出張所 ・町田市環境政策課3R推進係 ・町田市新たな学校づくり推進課	769人	・4年ぶりに、模擬店、ステージ発表も実施。 ・前日、雨天のため準備ができなかったため、当日午前8時より地域の方にもご協力いただき、テント張り等の準備を行った。 ・ほんの一時、雨が降るが、概ね良い天気の中実施することができた。 ・模擬店に購入待ちの列ができることがあったが、大きなトラブル等はなかった。 ・久々の規模の大きいイベントということもあり、参加者にも出店者の方にも喜んでいただけ、鶴川の地域の方の子どもセンターつるっこへの期待を感じた。

NO	イベント名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係課等	参加 総数	様子・成果
2	カクリョウサイ 鶴涼祭	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者に楽しい時間を提供する。 ・たくさんの人につるっこ子ども委員会の活動を知ってもらう。 ・子ども委員会のメンバーが、主体的に、力を合わせてイベントの企画・準備から実施までを行うことで、達成感を感じ、団結力を高める。 	<p>遊び お化け屋敷、うちわ作り、スタンプラリー、ドッジボール、ヒンメリ作り、ヨーヨーつり、ゲームコーナー</p> <p>販売 野菜等つかみ取りと販売 駄菓子等販売</p> <p>展示等 交通安全啓発ワークショップ 文化芸術ワークショップ 乳幼児お楽しみタイム</p>	どなたでも	8/6(日) 午後1時～4時30分	<ul style="list-style-type: none"> ・つるっこ応援し隊 ・鶴川第一地区委員会 ・鶴川地区青少年委員 ・JA町田市アグリハウス鶴川 ・子ども委員OB ・町田福祉保育専門学校等ボランティア ・文化振興課 ・市民生活安全課 ・町田総合高校生 ・鶴川地域子育て相談センター 	461人	<ul style="list-style-type: none"> ・家族連れや友だち同士誘い合っでの来館が多く、景品や食べ物を手に嬉しそうに過ごす姿が多く見られた。 ・子ども委員は、前々日のお化け屋敷設営から終了後の片付けまで総力戦で取り組んだ。振り返りでは改善点に加え、上手にできたことや嬉しかったことがたくさん挙がり、大きな充実感が得られていた。
3	つるっこホットフェ ス	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者に楽しい時間を提供する。 ・たくさんの人につるっこ子ども委員会の活動を知ってもらう。 ・子ども委員が、主体的に、力を合わせてイベントの企画・準備から実施までを行うことで、達成感を感じ、団結力を高める。 	<p>遊び 迷路、タッセル作り、スタンプラリー、ドッジボール、乳幼児お楽しみタイム、コックペーパー作り、ポッチャ&モルック体験、プレイコーナー、輪投げ&ポウリングコーナー</p> <p>販売 食べ物等販売</p> <p>展示等 交通安全・防犯啓発コーナー、つるっこじょうもん大作戦、キャンドルイルミネーション</p>	どなたでも	12/17(日) 午後1時～5時	<ul style="list-style-type: none"> ・つるっこ応援し隊 ・鶴川地区青少年委員 ・和光大学児童文化研究会「たまてばこ」 ・野津田高校ユニバーサルスポーツ部 ・市民生活安全課 ・生涯学習総務課 ・鶴川地域子育て相談センター 	284人	<ul style="list-style-type: none"> ・開始早々はスタンプラリーが人気で、参加賞を手にした後に他のコーナーをめぐる子どもが多かった。イベントの最後には、屋上のキャンドルイルミネーションを楽しみ、子ども委員サントからささやかなプレゼントをもらい、嬉しそうだった。 ・子ども委員OBやたくさんのボランティアの力を借りながら、たくさんの人に楽しんでもらえるイベントを実施できたことで、子ども委員一人一人が自信を持つことができていた。

4 子どもセンター合同事業

	プログラム名	目的	主な内容	対象	日時	講師、協力団体 庁内関係課等	開催 回数	参加 のべ 人数	様子・成果
1	町田市一周チャレンジハイイク	<ul style="list-style-type: none"> ・普段歩かない距離に挑戦し、成し遂げる経験を通して、日常生活への自信にする。 ・町田市内を歩き、新たな発見を通して、町への愛着を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市内約74kmを2泊3日かけて歩くチャレンジ ・宿泊場所：子どもセンターつるっこ(1泊目)、NF東京町田(2泊目) ・参加費：3,800円 	小学5年生～18歳	3/26～28	<ul style="list-style-type: none"> ・事業指導補助者(大学生、社会人) ・つるっこ応援し隊 	1回	14人	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ制限が緩和されたことにより、5年ぶりに2泊3日で実施。 ・初日は、荒天のため、市庁舎から直接つるっこまでのルートに変更した。傘、雨具で歩くということのみならず、ほか人と交流もできず、とても大変だったという感想があった。 ・初日の夕食は、つるっこ応援し隊の方に夕食を準備していただき、鶴川を感じることができた。 ・2日目、3日目は天気に恵まれ、ボランティアの支えもあり、参加者全員が歩ききることができ、自信につながったようだった。

5 実習、職場体験受け入れ

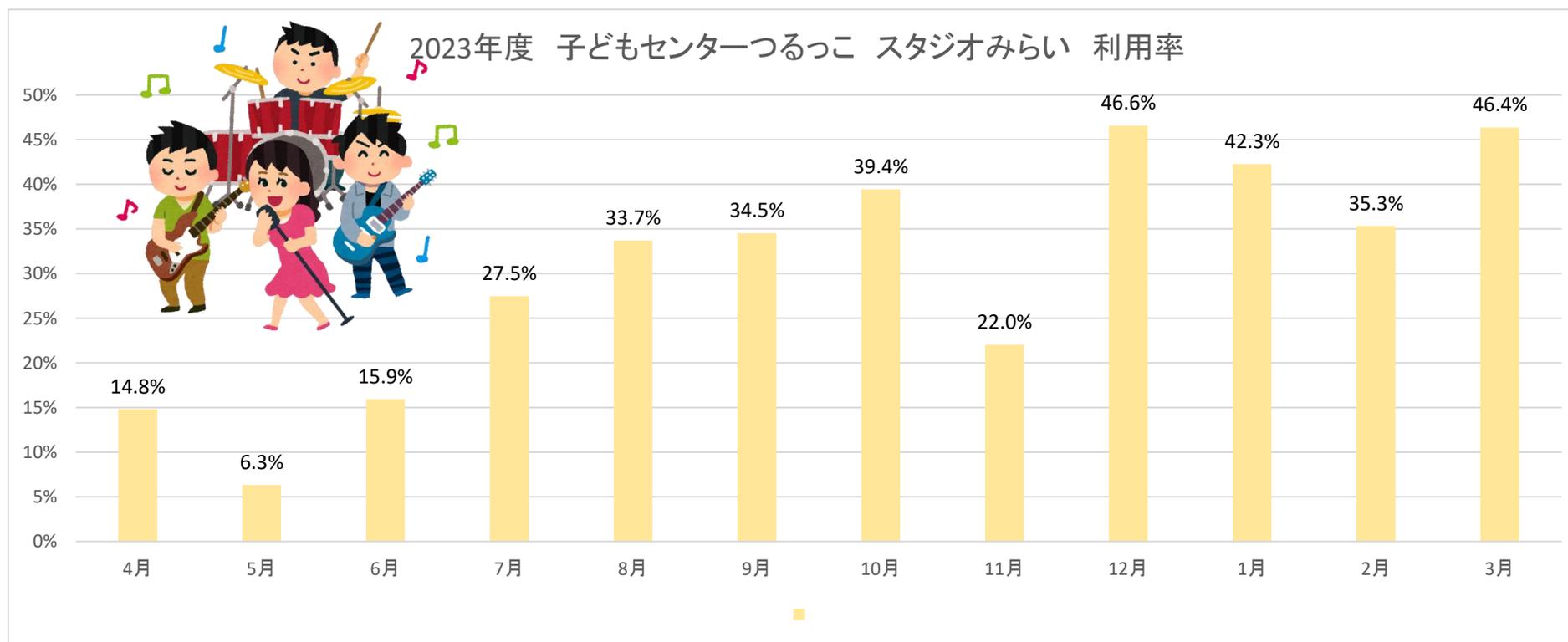
NO	日程	学校名	目的	人数
1	2023年6月19日、21日	首都医校	臨地実習	1
2	2023年6月26日、28日	首都医校	臨地実習	2
3	2023年7月3日～15日	町田福祉保育専門学校	児童館実習	2
4	2023年8月4日～6日	大東学園高等学校	ボランティア体験	1
5	2023年12月6日～12月18日 2024年3月9日～3月23日	鎌倉女子大学	児童厚生関係実習	1
6	2024年1月17日、18日	鶴川第二中学校	職場体験	2

施設見学、研修受け入れ

NO	日程	団体名	目的	人数
1	2023年9月25日	大蔵小学校2年生	生活科見学	105
2	2023年10月4日	放課後子ども教室まちとも運営協議会	研修	28
3	2023年10月18日	鶴川第二地区民生委員児童委員協議会	研修	18
4	2023年11月10日	鶴川地域放課後子ども教室まちとも運営協議会	情報交換会	14
5	2023年11月23日	東京都立大学大学院都市環境科学研究科	修士論文調査協力	1
6	2023年12月18日	藤の台小学校3年生	施設見学	59
7	2024年2月9日	放課後子ども教室まちとも運営協議会	研修	35

4 スタジオ利用状況 2023年度 子どもセンターつるっこ スタジオみらい利用率

項目	4月平日	4月休日	5月平日	5月休日	6月平日	6月休日	7月平日	7月休日	8月平日	8月休日	9月平日	9月休日	
利用コマ数	6	10	6	5	8	21	22	28	40	19	35	23	
利用可能コマ数	80	28	96	78	126	56	104	78	119	56	105	63	
利用率	7.5%	35.7%	6.3%	6.4%	6.3%	37.5%	21.2%	35.9%	33.6%	33.9%	33.3%	36.5%	
項目	10月平日	10月休日	11月平日	11月休日	12月平日	12月休日	1月平日	1月休日	2月平日	2月休日	3月平日	3月休日	年間合計
利用コマ数	39	30	26	11	47	28	32	39	33	26	52	37	623
利用可能コマ数	105	70	105	63	105	56	98	70	111	56	105	87	2020
利用率	37.1%	42.9%	24.8%	17.5%	44.8%	50.0%	32.7%	55.7%	29.7%	46.4%	49.5%	42.5%	30.8%



2023年度 子どもセンターつるっこ スタジオゆめ利用率

項目	4月平日	4月休日	5月平日	5月休日	6月平日	6月休日	7月平日	7月休日	8月平日	8月休日	9月平日	9月休日	
利用コマ数	23	18	16	18	19	10	21	18	36	7	17	34	
利用可能コマ数	169	74	86	92	195	83	157	114	163	66	163	99	
利用率	13.6%	24.3%	18.6%	19.6%	9.7%	12.0%	13.4%	15.8%	22.1%	10.6%	10.4%	34.3%	
項目	10月平日	10月休日	11月平日	11月休日	12月平日	12月休日	1月平日	1月休日	2月平日	2月休日	3月平日	3月休日	年間合計
利用コマ数	14	19	18	20	19	6	23	6	17	11	57	29	476
利用可能コマ数	164	107	162	97	143	64	137	96	160	88	160	111	2950
利用率	8.5%	17.8%	11.1%	20.6%	13.3%	9.4%	16.8%	6.3%	10.6%	12.5%	35.6%	26.1%	16.1%

